ド級編隊
エグゼロス
HXEROS
きただりょうま
5
JUMP COMICS SQ.

ド級編隊エグゼロス
H×EROS
きただりょうま
5
JUMP COMICS SQ.

H×EROS Characters

H×EROS EROSをHネルギーに変え、キセイ蟲と戦うヒーローチーム。

HXEWHITE

白雪舞姫（しらゆきまいひめ）

エグゼホワイト

ドジで特技がない事を気にしているが、内に秘めたEROSは人一倍。

HXEPINK

桃園百花（ももぞのももか）

エグゼピンク

姉への対抗心から、ヒーローへの誘いを受けた。烈人の雲母への気持ちに気付く。

HXEYELLOW

星乃雲母（ほしのきらら）

エグゼイエロー

幼い頃のトラウマで、エロに拒否反応を示す。幼い自分の姿をした幻覚・黒雲母に悩まされている。

HXERED

炎城烈人（えんじょうれっと）

エグゼレッド

幼馴染の雲母を変えてしまったキセイ蟲が許せなくて、ヒーローになる。雲母の事が好き。

Story

地球はキセイ蟲による侵略を受け、かつてない危機に瀕していた。しかし、そんな敵と日夜戦い続ける少年少女の姿があった。彼らの名はH×EROS——。トーキョー支部の紫子と萌萎との勝負に勝った烈人だが、彼を自分のHフレにしたい紫子から手作り弁当を渡されるなどのアタックを受けるようになった。そんな状況を快く思わない雲母だが、彼女には別の深刻な問題も生じていた。幼い頃の自分が幻覚としてちょっかいを出してくるのだ。その幻覚「黒雲母」は雲母と烈人が結ばれるのが最終的な目的ということで…!?

チャチャ

キセイ蟲の王女。Hネルギーを高める体質のため、仲間から疎外されていた。

叢雨紫子

トーキョー支部隊員。烈人を自分のHフレにしようとアプローチを続けている。

キセイ蟲

人間のエロスの源"Hネルギー"を奪い、絶滅を目論む宇宙人。

若草萌萎

トーキョー支部隊員。百花とは同じ中学校出身。

HXEBLUE

天空寺 宙

エグゼブルー

Hな漫画を描くのが趣味。XEROスーツのデザインを担当した。

contents
HXEROS

Hネルギーが欲しいか——?

……誰だ…?
どうなのだ…?
Hネルギーが欲しいか?
そりゃあまぁ…
健康的な男子高校生くらいには…
第19話
Hナジー☆モンスター
Hネルギーが欲しいのなら…己の生理現象に従うのだ…
フッ
それだけ…?
ちょっ 待ってくれ…!

はっ!?
パチ
はぁっ…
はぁっ…♡
どうしたのだレット…?
!
なんだか今日は寝相が激しかったのだ…
勝手に布団に入って来て 紛らわしいことすんなっ
ポイッ
ニャー
あ
7:52

だだだっ
ってやべぇ
遅刻っ！
今日 朝礼なの
忘れてた！
くっそー 星乃の奴
起こして行ってくれれば
よかったのに…
XEROスーツが
完成してから
数週間──
俺たちは特に
これといった事件も
ないまま平穏な
生活が続いていた
とりあえず
なにか食える
物…
ガパッ
げっ
空っ
何も無いっ
仕方ない…
これでも
持っていくか

なんや烈人…今日は早いんやな
ふぁあ〜っ
おっす桃園
ドヒューン
それじゃあ行ってきまーす！
なんや朝から忙しいやっちゃなぁ…
せや！
そんなことより今日は本部からとっておきの試供品が届いてたんやった
えっと名前は確か…

〝Hナジードリンク〟
飲むとHネルギーの新陳代謝が良くなるって話やったな
一体どんな効果なんや…
ぱかっ
NER
DRIN
ってあらへん…
誰や勝手に飲んだの〜〜〜っ!

じゃーなー
おー
あー…腹減った…
やっと帰れる…
すっ
食うか？
おサンキュウー——
…叢雨…さん…!?

ってまた来たのか…
またとか言うな…！
た…たまたまキセイ蟲退治のついでに寄っただけだし…
もしかして君友達居ないの…？
ギクッ
とっとと友達くらい居るわ！
まずトーキョー支部の3人だろ　それから…えっと…
………
………
Hフレならここに一人な…
なんかごめん…
うるせえっまだ居るわ

ぐびっ
ったく なーに赤くなってんだよ
あっ
ん？ なんだこのジュース… 変な味だな…
人から貰っといてそれはないだろ…
ひひひ
烈人も飲んでみ？
いや いいって…
いーから いーから(笑)
…これ…
飲んだら間接キスだよな…
ゴクッ

なーに二人でこそこそしてるのよ？
ほ…星乃…
ちぇっ…良い所だったのに…
ただこのジュースの味が変だって話してただけだよ
またそんなこと言ってやらしいことさせようとしてたようにしか見えなかったけど…？
まじだって…そんなこと言うならちょっと飲んでみ？
はあ？
別にいいけど…

ゴクッ
ふうっ
別に美味しいじゃない
じゃ 全部やるよ…
ぐぬぬ…

ヒック♥
そういや聞いたけど星乃キララ
お前まだエグゼロスに入ったばっかなんだって？
どうしてもって言うなら先輩のオレがHネルギーの指導してやらないこともないぜ…？
パタパタ
ヒック♥
余計なお世話よ…
大体 私だってアナタに負けるつもりは無いんだから
パタパタ
ヒック♥
面白え…それじゃあオレと勝負するか…？
へ？
ヒック♥
望む所よ…

叢雨はいつも通りだとしてもどうしたんだ星乃の奴…
なんかいつもとキャラが違うような…
!?
もしかして…
これを飲んだからか…?
"エナジー"じゃなくて
"Hナジードリンク"!?
飲料/Hナジードリ
炭酸飲料/Hナジードリ

カラオケの達人
良かった…勝負って何かと思ったけど
カラオケのことか…
んーっ
ヒック
あー ここのソファー柔らかくてめっちゃ気持ちいいぜー
なんかさっきより症状が悪化してるけど大丈夫か…
それにしてもなんだか暑くない…？
俺飲み物取ってくるけど なんかいるか？
オレはコーラで
私アイスティー濃いめー

で
勝負って
何なのよ？
アナタに限って
こんなカラオケで
勝負なんて あり
得ないでしょ…？
よく
わかってる
じゃねーか
エクゼロスなら
それらしく
Hネルギーで白黒
つけようじゃん…
実は
H×EROSは
スマホと連動
出来てな
どれだけ
Hネルギーが
溜まったか
表示出来るんだ
コト
一曲ごとに交代で
アイツのHネルギーを
多く溜めた方が勝ち
ってことでどうだ？
い…いーわよ
やってやろうじゃ
ない…！
やっちゃえ
わたしー

達人
持ってきたぞー
ガチャ
!?
ビクッ
びっくりした?
べろんべろん
最近のカラオケってコスプレも充実してるんだな

叢雨はともかく…

星乃まで一体どうなってんだ…!?

ビクン

それよりカラオケなんてもういいからさ…

せっかくの個室なんだからもっと楽しいことしようぜ…？

いや…そんなことより俺は歌いたい曲が…

ビクン

なによ…私よりもカラオケの方が興味あるってこと…？

ひっくん
なぁ…もうちょっと
こっち寄れって
ぎゅううっ
あのー
出来れば自分で
マイク持って
欲しいんだけど…
バーカ
そんなんじゃ
全然Hネルギーが
溜まらないだろ？
近くね
……？
別に構わ
ないけど!?
ほっ…星乃
からも何とか
言ってくれ…！
ひっくん
H59

すぽっ
ビクッ
そんなに嫌なら こっちのマイク使ってみない…？
こっちも…!?
ぽよーっ
大体 星乃のセーラー服姿なんて中学の時以来か…？……
ピピピッ
当時を知ってる分 今は余計に破壊力が…
……

ひっく
胸じゃなくても挟めれば同じだろ…？
ホラ歌っていいぞ？
歌えるかッ!!!
ポロン
85%
ああそっか Hネルギー溜めるならもっと別のモン挟んだ方が良かったか？
ちょっと…それ私のアイディアでしょ!?
ちょっ…さっきから何の話してるんだよ…？
ぐいぐい
91%
も…もしかして今朝の夢で楽してHネルギーを得ようとしたから
そんな俺にバチが当たったんじゃ——

恐るべし――
ぎゅっ
Hナジードリンクの力――
けど…そんなモンに負けてたまるか…!
ガバッ
ピクッ
パシャッ
ひやうッ!?

びゅっ
あっ
あれ…私今何してたんだっけ…？

あ〜
頭痛い〜

それに
この格好…
アナタの仕業
じゃないで
しょうね…？

オレに
聞くな…

まさかライバル
登場…なんてこと
ないわよね

プルルルッ

そろそろ
お時間ですが延長
なさいますか？

も…もう
限界です…

第20話

カラッ

天気良し

時間良し

服装は…まぁ良し

ビシッ

なんで相手が
桃園なんだ――
第20話
二人のアマノジャク

1日前
学校の近くでキセイ蟲の噂？
せやねん ウチの学校の近くに恋愛祈願の神社があるんやけど
そこにカップルで行くと絶対に別れるって噂になってるんや
ウィン
ウィン
そんなのよくある話じゃんか 某テーマパーク然り
それがキセイ蟲とどう関係があるんだ？

ここからがおもろい話でな
この神社に行ったカップルは100%酷い喧嘩別れしてるそうなんや
それに境内で巨大な虫を見たって話も…
!
なるほど…それは調べてみる価値はあるかもな…
それじゃあ今度の休みに皆で調べてみるか
それじゃアカンねん
?
言ったやろ？この現象はデートの時にしか起きひんって
すっ

ほな
次の休みは
よろしくな♪
なんや その
微妙な顔は
ん？
いやー ただ
気合入ってんな
と思ってさ…
ああ これな…
この前 雲母の買い物に
付き合った時に
一緒に買ったんや

せやけど やっぱりウチには こんな格好 似合わへんよな…
そうか…? いかにもデートっぽくていいと思うけど…
ホ…ホンマ…?
いやー さすが 見る目があるで
やっぱり 烈人を選んで 正解やったな
!?
ぎゅっ♥
落ち着け俺… そう… これは任務… それ以上でも 以下でもないんだ…

なぁ烈人
この納豆クレープ
めっちゃ美味いで
って めっちゃ
満喫してるし…
納豆
クレープ
新発売
おいおい
今日はキセイ蟲
退治じゃなかった
のかよ？
そりゃあ今日 ウチらは
カップルのフリして
神社に行くんやで？
一からシミュレーション
しないとキセイ蟲も
現れんかもしれへんやろ

ペロッ
それに
キセイ打倒すには
Hネルギーも
溜めとかんとな
んまっ
食べないん
なら ウチが
食ったろか？
いいって
…！
桃園？
!!
！

やっぱり桃園だ！
そんな服着てるから全然わからなかったぜ！
ぞろぞろ
どちらさん？
た…ただのクラスメイトや
なんでよりによってこんな日に…
あっはっは！
お前が制服以外にスカートなんて持ってるなんてな！
お前なんだよその服!?
べっ別にええやろ！
君桃園の友達？
他校の人は知らないかもしれないけど コイツ学校じゃ全然こんなキャラじゃないんすよ
カァ～ッ
……

ちょっといいか?
アンタ達一つ勘違いしてるみたいだけどさ
俺は桃園の友達じゃなくて
(今日だけ)この娘の彼氏だから
へ…?
さデートの続き行こうぜ
ガーン
せ…せやな

そんなことなら、もっと早く告っとくんだった(泣)…！
俺も…
お前らも!?
はーっ びっくりしたでもう…
不意打ちの恋人宣言は卑怯やわ…
お前が言ったんだろ？
神社に行くまではカップルのフリするって
せやけど助かったで烈人
やな！
ほら早く行くぞ

恋愛成就
で ここがその 神社か…
ずううううん
サーッ
なんかジメジメしてきたな
気味悪いやろ…？
びびって抱きついてきたりなんてすんなよ？
何言ってんねん そんなことする訳ないやろ…

ギュッ
へ？
きゅっ
急になんだよ桃園…!?
ちゃうねん…これは身体が勝手に…！
いったん落ち着け…な？
ドサッ

烈人の方こそ何してるんや…？
あ…あれ？今俺桃園を引き離そうとしたはずなのに…
ウチも…離れなと思えば思うほど逆に身体を締め付けてまう…
ギュウウッ
もしかして俺たち…
思考と行動が入れ替わってる…？
なるほど…それならここに来たカップルが喧嘩別れするのも納得や
だけどそれじゃあどうやって抜け出せばいいんだよ…!?
離れようとするほどくっつくってことは逆のことを考えてみればええんやないか…？
……逆のこと…？
ムニッ

想像するんや
烈人…
ウチを抱きとうて
しょうがない
って…
ポンッ

烈人にはああ言ったものの…
ウチはウチでなんとかせな…
せやけどなんやろこの感じ―
んっ…♡
烈人には他に好きな人が居ってこれは本心やないってわかってるのに…
アカン…こんな積極的な烈人前にしたら…
もッ
ウチも本気になってまいそうや…

まそんなこともうどうでもええかー
プルプル
はぁっ…
ドキッドキッ
ドキッ
はぁっ…

桃園…
今のって…
や…えっと
その…
そうか
…！
キセイ蟲の仕業なら
Hネルギーが溜まれば
無力化出来るのか…!?
せ…
せやな…！
ま…
そういうことに
しといたろ

オイコラ
キセイ蟲！
さっきから
そこに居んのは
バレバレやで！

ギョッ!?

烈人は手を
出さんといてな

今回は
ウチ一人で
十分や

パァアアアッ

XERO（ゼロ）スーツ

解☆禁(リリース)
!?
キショオオオオォオオオッ
ボオン!!

それにしても色んなタイプのキセイ蟲も居るもんやな
ったく…おかげでせっかくの休日が台無しだよ…
ぎゅっ
今度は何だよ…!?
!
うん別になんともあらへんな
んー ただ脈測っただけやから気にせんといて
?
ま今日のことは雲母には内緒にしといたるから安心しいや
……なんでそこで星乃が出てくるんだよ…

だって烈人好きなんやろ？雲母のこと
だっ だからそれは前にも誤解だって言っただろ!!
そんなに焦らんといても雲母にはまだ言うてへんから安心しいや
それにこの方が…
ウチにだってこうしてドキドキさせて貰える権利があるってもんやからな…
まー どうしても違うって言うんやったら今日一日のコト雲母に話しても構わへんよな？
愛成就
頼むから止めてくれッ!!!

Extra Gallery

番外ギャラリー

第21話
あー
烈人くん?
ガタッ
今回は珍しく
君たちにとって
いい知らせが
あってね
ゴトッ
日頃の君たちの
活躍を労って本部から
一泊二日の海水浴旅行の
プレゼントがあったんだ
チャチャくんと
ルンバくんは
世話しておくから
たまの休みだし
しっかり羽を伸ばして
くるといいよ
それじゃあ明日
また迎えに来るから
それまで皆楽しんで
ありがとな
叔父さん
おおっ!!
だっ

海〜〜〜〜〜〜っ！

第21話
肌金海岸海開き

まさか都内にこんな浜辺があったなんてね
肌金海岸…
聞いたことないけどけっこう有名な観光スポットみたい
それに国内初のヌーディストビーチ化計画進行中って書いてある
肌金観光協会
な…何よそれ…
それにしてはお客さんは全然居ないみたいですね…
ええやんむしろ貸切みたいで
ガラーン
よしっ！海辺に一番先に着いた人が夕食に一品追加な
乗った
あっ！待てや宙っ烈人！
だっ

はー…もう
子供なんだから
……
うずうず
シートは私が敷いておくので
星乃さんも行ってきていいですよ
そっそう？
悪いわね
コーラー！
私を置いてくなーっ！
ばっ
ふふ…
星乃さんも素直じゃないですねぇ
そうだ…
私も日焼け止め塗っとかないと…

私 海って
はじめて…
プカ
プカ
あー
気持ちいー
!?
ちょっと
何すんのよ!?
あっはっは
海に来たんやったら
潮の味くらい
知っとかんとな
せーのっ
ドーン!
ん?
何かが手に…

ぺたっ
!
きゃああ
ああああ
ああぁっ!
なななななのソレ!?
よくそんなグロイの触れるわね…
毒もないし無害だから安心して
なんだろ…ナマコかな?
この種類は初めて見るけど
そ…そうなの…?

ひゅるっ
つる
べしゃーっ
…これのどこが無害なのよ…
あれ…？なんか珍しい種類なのかな…
た…助けて下さい〜…
なっ なんだそいつら!?
もぞもぞ
もぞっ

ぷかっ

もー
なんだったのよ
あれ…
あんなんじゃ
海水浴も
出来へんで…
すいませーん
せっかく来たのに
全然海で遊べません
でしたね…
ちょっと俺
トイレ行って
くる…
それじゃあ
ロビーで
待ってるで
すみません
お待たせ
しました
パタ
パタ

久方ぶりなお客さんなものでつい支度が遅れてしまって…

いえ…私達の方こそ海水浴から思ったより早く引き上げてしまって
予定より早い時間に来てすみません…

お客さん達もしかして海に行かれたんですか？
はい…
それはさぞかし驚かれたでしょう
なんなんですかあれは…？

お客さんが見たのはおそらく"テッポウナマコ"だと思います
テッポウナマコ…？

といっても私らがそう名付けただけですが
今年になってその新種のナマコが大量発生しまして…
退治してもすぐにまた数が増えるわ逆に浜辺の利用客は減る一方で困ってるんです…
お客さん方も申し訳ないのですが今回は海に入るのは諦めてくださいまし
大変なんですね…
なんやせっかくの休みなのに…
コラッ

あ
ちょっ 何でお前らがここにいんだよ!?
二人共落ち着いてくださいっ
そりゃあこっちの台詞よっ!
えっえっどういうこと…!?
あらあら可愛らしい業者さんですこと

つたく お前らは
旅行か何か
知んねーけどな…
！
オレらが来る
理由なんて
一つしかねーだろ
男
男
っと…
ロビーはどっち
だっけ…？
ジャーーッ
キョロ
キョロ

もじもじ
すいません…だっ…男子トイレってわかります？
あぁ それならすぐそこですよ
ありがとうございます…っ
へー…人が少ない割に俺らと同い年くらいの人も来てるんだな
あのっ
！

あの…
もしかして君…
炎城烈人くん…？
そ…そう
だけど…
パチッ
僕 ファン
なんです…！
握手して
下さい！
ガシッ
あっ…してから
じゃ言うの
遅いよね…
？ いや…
別にいいんだけど…
ぱっ
トイレ
大丈夫？
ああ
そうだった！
ちょっと
失礼します
ダッ

ったく オレらは仕事だってのにお前らは遊びかよ

せやけど妙な偶然もあるもんやな

もしかしたらこれもおじさんの計画の内だったりして…

ありえる… しし

♪
な…なんだよ もう二人とも一緒だったのか
ヤッホー 炎城くん☺
あれ おまえ達… なんでここに…
何？まだちゃんと説明してなかったの…!?
あう… ごめん…
話は聞いたよ 炎城烈人くん
私は銀杏木よな 一応 トーキョー支部のまとめ役ね
こっちのナヨナヨしたのは大河橙馬よ
よろしく…

前に別行動した二人が迷惑かけたみたいでごめんね
別にいいって…
トーキョー支部が来てること知ってたか…？
ひそひそ
私達も今知ったとこよ…
それじゃあ全員揃ったことだし
行こうぜサイタマ支部さんよ
？
どうだ？萌菜

うーん…潮の匂いで分かり辛いけど近くにキセイ蟲は居なそう…
地元の人の話によるとナマコ駆除の際に数人がキセイ蟲らしき生物を目撃してるみたいですね
しゃーねぇ出てくるまでこいつらを駆除するしかねーか
キセイ蟲って…一体どういうことだ…？
えっとね…
トーキョー支部の調べによるとこの海岸にはキセイ蟲が潜んでて例のナマコで浜辺を使えなくしたとか…
旅館の女将さんの話を聞いたら私達も放っとけなくて手伝うことにしたって訳…
毎度のことながら回りくどい奴らだな…
で駆除って具体的にどうやって…

って何してんのよっ!?
キモ…
何って駆除だけど？
このテッポウナマコは威嚇で潮を吹くけど
一定量以上の水分が無くなると萎んで動かなくなるんだって
そうやってキセイ蟲が怒って出て来た所を退治するって作戦よ

宙も手伝うの…？
ごめんね痛くしないから…
ったくしゃーないなぁ…

ど…どうします…？
そんなの好きな人にだけやらせておけばいいのよ…
ったくエグゼロスの名が聞いて呆れるぜ
そんな不真面目な奴らにはお仕置きだぜっ
きゃあああっ
お…俺たちは向こうでやってるから…
そだねっ…

ざざーん

はー…ホント
大河くんが
居てくれて
助かったよ…

流石に
この男女比は
おかしいもんな

女の子の方が
快感が強いって
いうのは有名な
話だからね

……
やっぱり
すごいな…

でも皆から
こんなに離れて
大丈夫かな…？

今もしここで
キセイ蟲が出て
来たりしたら…

まぁ平気だろ？
不本意だけどさっき
のでキセイ蟲一体分
くらいは溜まったし

あの…

それを見込んで
炎城くんにお願いが
あるんだ…

僕の師匠になってください！
ぎゅっ
ん…？
叢雨さんと若草さんがよく別行動するのって
僕の所為かもしれないんだ……
………

だから何かHネルギーを感じるコツとかあれば教えて欲しいんです！
ずいっ
コツって言われても…
俺は別に無理矢理溜めようとしてる訳じゃないし…
そ…そっか…ごめんね変なこと言って…
しゅん
いや…だけど君の男子としてチームメイトを守りたいって気持ちはわかるよ
うんだから俺も同じエグゼロスとして君に協力したい
ホント!?
ぱあっ

ニッ
だから その前に 友達として 大河のHネル源を教えて もらわないとな
えっ!? でもそれは 恥ずかしいので…
つれねーなー 男同士なんだから それくらい 全然平気だろー?
え〜…
…じ… 実は…
きゃあああ あああああっ
!?
今のって…
女子たちの 方だっ!
だっ

んッ…

キッシッシ…
自業自得だゾ
人間ども
私の可愛い
ペットちゃんに
あんな酷いこと
するなんて…
他の海水浴客と
同じように
Hネルギーを
絞り取ってやる
キセイ蟲
ナマ蟲
クソっ…
Hネルギーが
入らねぇ…
人間のHネルギーは
敏感な所ほど溜まり
やすいからね
枯れ果てるまで
どれくらい
もつかなぁ?
チュー
雲母っ…自分なら
ちょっとやそっと
吸われたくらいじゃ
何ともないやろ…!
んなこと言ったって…
こんな気持ち悪くちゃ
Hネルギーなんて
感じられないわよっ

大河…
ちょっと
こっち…
ひとまず
俺がキセイ蟲
本体を叩くから
大河は皆の
ナマコを引き剥が
してくれ…！
うん…
わかった
……
あれ……
変だな……
しーん…
あんな光景見たのに
全然Hネルギーを
感じないなんて——
師匠…
後ろっ！
うおッ!?

どうやらまだ隠れてる人間が居るみたいだゾ
だっ…大丈夫…!?
なんとかな…
離れろっこのッ…!
ばっ
ばっ
ばっ
けど…Hネルギーをほとんど持ってかれちまった…
これじゃ一発で倒すのは無理そうだ…
だから橙馬…
君が皆を助けるんだ…

ええっ!?そんなの無理だって!
それとも俺たち二人でHネルギー溜め合うか?
さすがに無理だろ
それにさっき言いかけてた話…
俺は君のHネル源がどんなものだって協力したいと思ってる
チームは違えど…俺たちは同じ仲間だろ?
師匠…
…そうだよね…
このままいつまでも隠してちゃ駄目だよね…

ザザッ…
キシシッ
自ら出てくるとは
こっちの人間は
潔いのだな
ざっ
！
…なぁ橙馬…
本当に任せて
大丈夫なのか…!?
師匠が
言ったんでしょ？
僕がHネルギーを
溜めるしかないって
だからって
流石に何も
聞かされない
ってのは——
先に
謝っとくね
師匠…
ごめん
〜〜〜っ!!!
ええええ
ええっ!?

ドシャアッ
……
!

!!
!?
ビクンッ
そう…僕のHネル源…それは——

第三者視点でのHネルギー鑑賞
ぞくっ
ぞくっ
やっぱり師匠の受け身はすごい…
あんな的確に女体に着地するなんて…
ちょ…どこ触ってんのよ
…?
ンッ…水着が絡まって…
実際目にすると映像なんかよりずっと刺激的で…
はぁあぁっ
H
僕の中からも何か込み上がって…

Hネルギー弾
出ちゃうっ!!!
…まさか
お前達が…
…噂の…
…エ…グゼ
…ロ…ス…
しゅううううう…

きゃああああ
アアアアッ!!
バチーン
ぐほっ!!!
まさか あの橙馬が
キセイ蟲を倒す日が
来るとはなー
サイタマ支部の皆さん
今日は本当に
ありがとうございました

せめて何かお礼が出来ればいいんだけど…
よなちゃんは真面目だねぇ
そうだ！お礼に明日トーキョーで遊んで行きませんか？
良ければ私がご案内します
いいんですか…？
ごめん…叢雨さんは来なくても大丈夫だから…
(炎城烈人が来るなら)オレも行くに決まってんだろ！
ったく何勝手に話進めてんだよよな
め…珍しいね…
ねぇ見て…夕日…
！

今日は色々あったけど

この景色が守れたと思えば安いものね

大丈夫 師匠…？
擦り傷とかない？
ごし
ごし
まぁ
なんとかな…
だけど今日は
ありがとね…
こんな僕の
頼みを聞いて
くれて…
そんなこと
気にすんなよ

でも羨ましいな
この身体…
何かで鍛えてたりするの？
まぁちょっと
筋トレをな
逆に橙馬はもう少し
肉づき良くした方が
いいんじゃないか？
…なぁ橙馬…
まだ隠してる
ことなんて…
…ないよな…？
な…
ないけど…
いや…なら
いいんだ…

!?
あはは…
…ごめんね…
僕他人より乳首が
少し大きいのが
恥ずかしくって…
ま…まぁ
気にスンナ…

!?

もぞ

もぞ

きゅうっ

Extra Gallery

番外ギャラリー

第22話

びっくりした…
そうだった…俺たちは今トーキョー支部の人たちと一緒に旅館に泊まってるんだった…
にしても…寝相悪いなぁ
彼は大河橙馬
トーキョー支部唯一の男子らしい…
おーい 橙馬 起きてるか？
すーすー

ったく、はだけ過ぎだっつーの…
朝やでー
おっきしとるか
男子共ー！
目に毒だから直しといてやるか…
ふぁ〜…そんなにデケー声出さなくても聞こえんだろ
はあんっ
ん？

まさかそんなに欲求不満やったんか烈人!?
気付かなくてすまへん
ザッ
んだよ それならそう言ってくれれば手伝ってやんのに
はあッ!?
違えーって…!
ばっ
ぷるんっ
あ
やっぱり…♡
助けてくれ橙馬っ!
…? おはよう師匠…

第22話
サイタマ×トーキョー

食事処
いや〜ありがとうございます
今朝 主人が海岸のナマコが居なくなってるって大騒ぎしてましてて
お陰様で助かりました
お礼に朝ご飯はサービスですので
どうぞ召し上がってください
じゃんっ
おお〜〜〜っ!
それで観光って話だけどさ
場所は決まってるのか?
そうですねぇ皆の意見を聞いてからにしようと思いまして
皆さんどこか希望はあるの?

私は何か癒やしがある所がいいかなー

ウチは最新のHEROグッズなんか見れたらええなぁ

私はグルメスポットなんかがある所が嬉しいなーなんて…

そんな都合の良い所なんてあるか…？

！

それじゃあ―

……なるほど！確かにそこはぴったりかも

ヒソヒソ…

それじゃあ行きますよ皆さん

ざわ
ざわ
秋葉原駅
Akihabara station
SEXY
ざわ

やっぱりHERO（ヒーロー）たる者トーキョーに来たら この街に来ないとね！
とてもわかる
ざわ
銀杏木（いちょうぎ）さん…やけにテンション高いけど
もしかしてアキバ慣れしてる…？
みたいだね…
………
パタン
ざわ

それじゃあ行こっか
ぞろぞろ
まずはどこにするん？
ちょっと待った
観光とはいえ こんな大所帯でうろうろしてちゃ邪魔だし恥ずかしいだろ？
だから行動班を2つに分けねーか？
確かに…
4：5で分かれよっか
それじゃあH値の高い人から順に好きなチームに入ってくってのはどうだ？
よっしゃ…！
今朝のこともあるし これできっと炎城と同じ班に──

却下
そんなの恥ずかしくて公言なんてしたくないし…
あの…私も恥ずかしいのでジャンケンにしませんか…？
へ？
じゃーんけーん…
銀杏木班
それじゃあ私達がこの3人を案内するからまた後でね
あっ！この店行きたかったんです
くっ…
師匠…？どうしたの
ずーん
うんこの二人の案内は任せて
若草班
なんで萌菜がリーダーやねん…
……

はぁー…
お前の所為で
炎城と別の班に
なっちまっただろ
うるさいわねっ
そもそもアナタが
チーム分けなんて
しようっていうから…
ほら お前だって
内心ミスったって
思ってるじゃねーか
ギクッ
い…一体
何のことかしらね…？
いつの間にか
仲良くなったん
やなあの二人
おかげで
久しぶりに二人っきりで話せるね
ももっち
それは
別に嬉しく
あらへんな

それでウチらはどこ向かってるんや？
ん〜
ももっち達が喜びそうな所
FUKUROU CAFE
か…可愛い〜！

まさかトーキョーのど真ん中で本物のフクロウと触れ合えるなんてな(小声)
猫カフェやメイド喫茶もいいけどこういったマニアックな店がこの街の醍醐味なんだよね
それにしてもフクロウにもいろんな表情があるんだね
鳴き声も静かで癒やされますね～
見て見てこのフクロウ師匠みたい
そうか…？
その隣の子はなんだか星乃さんみたいね

是非写真も撮って下さいね
ただし近付き過ぎたりフラッシュを焚いたりすると彼らもびっくりしちゃうので気をつけてね
カシャ
ま帰りに星乃にでも見せてやるか
はーい
仲良さそうだね炎城くんと星乃さん
い…いや別にそれ程じゃ…
ん？この子達の話だったんだけど
そういうことね…

聞き違いじゃなければ私はHEROショップに行くって言うから付いて来た訳だけど…
"H"が抜けてるじゃない"H"が!!!
大体こんな所未成年が入っちゃ駄目でしょ…!
大丈夫だよきらりん

1階はただのジョークグッズ売り場で大人向けは2階からだから
!?
ウィンウィン
せやで 雲母もいざという時の為に買うた方がええんちゃうか?
ちょっ近づけないでよそんな物っ!
ジトー
あ逃げた
ダッ
私ちょっと外の空気吸ってくる…!
はっ

あー……
恥ずかしかった…
ふぁぁぁッ!?
って叢雨ッ
……さん…!?
なによそれっ
ななな何事っ……!?
そんな初心でよくエグゼロスなんてやってられるよな

昨日今日のお前たちを見た限りじゃ
まだ炎城烈人との関係は変わってねーみたいだな
そ…それがどうしたのよ…？
ふーんやっぱりな…
さっきの班分けで気付いちったんだけど
お前は自分のどんな感情よりもまず恥ずかしさを優先させるって…
！
だからオレは決めたぜ星乃雲母…
だから一緒に住んでんのに未だにHフレにすらなってねーんだよ
なっ…！

ふず…
炎城烈人を堕としてヤるぜ…
今度こそホンキで
さ
さっ
んじゃあオレはちょっとシたいことが出来たんでもう帰るわ
それに気ィ抜くなよ?
オレらの他にもアイツのこと狙ってる奴が居るかもしれねーしな
…

も…もしかして私ピンチ…?

ひゃあっ!!どこですか宙ちゃん!?
姫ちゃんこっちこっち
へーアキハバラってこんな所もあるんだな
僕も初めて…
師匠ちょっと僕トイレ行ってくるね
前みたいにもう迷わないようにな
やめてよもー

へぇー…「VRヒロイン」
そういうのもあるのか…
あなたも体験してみませんか？
VR体験コ
こういうの興味あるの？炎城くん
！
VRヒロイン®
な…なんだ銀杏木さんか…
すいっ
これは隣に住む幼馴染に勉強を教えてもらうって設定のVRゲームね
私もやったことあるんだけどすっごいリアルなの
せっかくだしやってみなよ
じゃ…じゃあ少しだけ…

この人が鐵雨さんも一目置く炎城烈人くんか…
こういうのに食いつくのは流石と言った所ね…
ゴクッ
ミャッ
私も昨日減った分のHネルギー補給したかったし…
お手並み拝見といこうかな…
まさか女子の目の前でVR美少女ゲームをやることになるとは…
ドキドキ
何が見える？炎城くん
教室と…さっきのPOPの女の子が一人
もうこんな時間になっちゃったね…
大丈夫みたいだね
ふふ…実はこのゲーム勉強は建前で女の子とイチャイチャしてからが本番…
きっとVRだけじゃ飽き足らずに—

ふへへ…最近のVRは感触までリアルに伝わってくるんだな
本当にそこに居るみたいだぜ
ちょっ炎城くん…!?

きゃ〜っ
どうしよう
もし本当にそう
なっちゃったら…!?
凄いな…まるで
本物の女の子が
目の前に居る
みたいだ…
ってなにやってんの私——!?
はぁっ…
はぁっ
…♡
ほぅ これは
これは…
こんなんじゃ
ただの変態
だよ…!
そう…これが
私のHネル源

学校でも家でも優等生…
そんな生活に嫌気が
差してた頃 エグゼロスに
勧誘された私
だけどそこでも他の
メンバーがアレな分
結局 私がまとめ役…
さわっ
そんな私の
Hネル源は…
背徳感――♡
ッ♡♡♡
どさっ

今変な音したけど…何かあったか？
って銀杏木さん!?
あのッ…これには訳が…
まさかこの人もこんなキャラだったなんて
…いや…エグゼロスなんだからむしろ当然か――
…って納得してる場合じゃないか

ピンッ
い…今のは誰にも言わないで…
この通りだから…！
どの通り!?
たゆんっ
その…俺には今他に好きな人が居るから…
そういうことはホント冗談でも止めてくれ…！
…何か勘違いしてない炎城くん…？
別に私にそういう感情は…
はっ

も…もしかしてサイタマじゃメンバー同士でこういうことってやらない…？
当たり前だろ…！
騙されたーっ…！
叢雨さんどこのチームも皆こうしてHネルギー溜めてるって言ってたのに！
な訳無いだろ…
もう大体事情はわかったから…！
ホントにごめんっ私そんなつもりじゃなくてっ…！

でも凄いんだねサイタマ支部って…
まじめっていうか純真っていうか…
あんなことしなくてもキセイ蟲退治の実力はトップクラスなんだから
普通の人から見れば変なのはトーキョー支部だよね…
……
俺は別に変だとは思わないけどな
他人の目を気にして戦うHEROなんていないだろ？

ありがと…
そう言われると
あの恥ずかしさ
にも耐えられ
そう…かな…
君みたいな人に
好かれた子が
少し羨ましいな
もー
探したよ
二人とも！
向こうももう
遅いから解散
しちゃったって
そうそうっ
悪い悪いっ
すっごい
面白いゲームが
あってさ…

それじゃあ今日はありがとな
こちらこそありがとうございましたー
悪いちょっとトイレに行ってくるから先行っててくれ
わかりました
はぐれたら置いてっちゃうよ
何言ってんだよ
そう簡単に迷う訳…

しまった…
迷った…

俺も橙馬のことは言えないな…
炎城？
星乃…！
あれ…桃園達はどうしたんだ？
ちょっと人が多くてはぐれちゃって…
俺と同じか…
これはチャンスなのか…？
な…なぁ
…ねぇ

一緒に帰らないか…？
…？

君みたいな人に好かれた子が少し羨ましいな

今度こそホンキで炎城烈人を堕としてヤるぜ…

へー可愛いじゃない
だけど私はその隣の子の方が好きかなー
!
あれ…なんかこの子も誰かに似てる気が…
ぱっ
そっそうだ星乃たちは今日どこ行ったんだ!?
私…!?
と…特に面白い所は無かったかな…
とか言いながらちゃんと買ってるじゃん
何が入ってるんだ?
これはトーキョー支部の忘れ物だからっ…

扉が閉まります
ご注意下さい
ほっほら
そろそろ
降りないと
ドキッ
あっ
ごめんな
さい…
降りますッ…！
カッ
ツ
ニッ
プシューーーッ
はー
危なかった…
気付いてくれて
助かったよ…
っ！
…星乃…

髪飾りどうしたんだ…？
…あれ…？ さっき人にぶつかった時に落としちゃったのかな…
でもどうしよう…電車もう行っちゃったし…
プァン
あっ
俺…終点で探してもらえるように駅員さんに話してくる…！
タッ
そんなことしなくてもいいのに…
どうせまた同じの買えばいいんだし――

あの髪飾り…
いつから持ってたんだっけ…
毎日つけるくらい大切だったのに…思い出せない…
星乃
駅員さんに聞いたら終点なら少しだけ探す時間くれるってさ
もうこんな時間だし
後は俺が見つけとくから星乃は先に帰っていいぞ
……

待って
私も一緒に行く
あの髪飾りはとても大切な物だった気がする…
ふーっ
やっと見つけた…

ありがとうございました
いやー見つかって良かったよ…
彼氏からのプレゼントとかだったら大変だからね
そっ…そんなんじゃないです…！
ははは変なこと言ってごめんね
もうこんな時間だし親御さんに連絡しようか？
いやっ…大丈夫です
……なるほど
ポテッ
こういう時は男がリードするもんだぞ
へ!?

さてと…もう終電もないし…どこかでおじさんに連絡して迎えに来てもらおっか…
そうだな…
ゴク…
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン

ピタッ
ねぇ もしかして 炎城…
この髪飾りのこと…何か知ってるんじゃない…？
ドキッ
!?

お願い
教えて

わかったよ…ただし誰にも言うなよ…？
うん
特に桃園には
今更言うのも恥ずかしいんだけど…
その髪飾り…実は俺があげたんだよ
うーん全然思い出せない…
でもそれとキセイ蟲に何の関係があるのよ…？
う…嘘…
そ…それはもしかしたら多分…

……俺のプロポーズのプレゼントだったからだと思う…

Extra Gallery

番外ギャラリー

第23話
二人の雲母
おはよっ れっくん
おっす 星乃
いやー 昨日の夜は 暑かったねー
キミっ

ホラ見て
薄着で寝てたら
こんなところ
蚊に刺されちゃった
!?
ぺろん
バッカ!
通学路で
そんなトコ
見せんなよ…!
ふーん…
クスッ
ぱっ
通学路じゃ
なかったら
見せて
いいんだ?
ねえ
どっち だと
思ったの?
うるせー
知らねー

全くコイツは…
はーっ
人のことをすぐおちょくってくるし
わがままだし生意気だし
だけど俺は…
そんな星乃が好きだった
あいつの誕生日の今日こそ…
ぎゅっ
俺が主導権を握ってやる…！

じゃーねー
!
なんなのよ
れっくん…
こんな所に
呼び出すなんて…
それに
この手紙…
ピラッ

これ…本気なの…？
きみに"けっこん"をもうしこむ。
ほうかごたいくかんうらでまってる。byれっと
まぁな…
ふっふっふ計画通り…
そう…これは"けっこん"という字に見えて実は"けっとう"と書いてあるのだ！
どーん
さぁ…いつものように俺を弄って来い星乃…！
結婚と読み間違えた星乃を俺が弄り返すという完璧な作戦
へー私のことそんな風に思ってたんだー
俺は"決闘"って書いたつもりなんだけど何と勘違いしてるんだー？

ま…まぁ
れっくんが
そう言うなら…
だけど…
婚約なら
まだしも
私達には
ちょっと早い
かなーなんて…
あれ…なんだ
この空気…
思ってたのと
違うぞ…
あの星乃のことだ…
これで済む
はずがない…
きっと何か
企んでるはず
…！
そ…そうだ
これ…！
ごそっ

流石にここまで言えば帰って来るだろ…
今日お前誕生日だろ…？
これやるから…手紙の返事が決まったらつけて欲しい
さぁ…本性を見せろ星乃――！
……ありがと
大切にする…
お…俺の負けだ星乃…
♡

…そう…だったのね…
ふふっ ちょっと がっかりした?
うるさい
というか
それのどこがプロポーズなのよ…!?
あ…あれは お前があんな 反応したから…!

だけどキセイ蟲に遭遇してからしばらくした後…

それをつけてるのを見て一緒に帰ろうって誘ったら…

ガチャッ

は？冗談はその変な苗字だけにしときなさいよ

ガーーン

そ…そんな…

あの時も
あの時も…

恥ずかしすぎて
死にたい――!

何そんなことで焦ってるのよ
今まで もっと恥ずかしい姿見られてきたくせに
全く なんでもっと早く言わなかったのよ…！
それにあの手紙に即OKだなんて…
あんたも意外にチョロいのね
ギクッ
わ…私もなかなか言うようになったじゃない…

ガサッ
!?
なんだ…今の…？
ッ…もしかしてキセイ蟲…!?
スチャッ
まさか…猫か何かだろ…
ね…猫型も居るの…!?
いやキセイ蟲の話じゃなくて…
ガさ
がさ

……
!!!
ばっ
キュウッ
ちょーーん

ほっ
…タヌキ…？ なんでこんな所に…
キョロ
キョロ
いや… アライグマよ この子 かわいい…
いい子だから こっちにおいで
おいっ 危ねーって…
ビクッ
あっ!?

あーあ…逃げちゃったか…
!?
はっ
きゃあああああっ
お…俺は何も見てないからっ…
違うの違うの!
さっき言った通りこれは霧雨さんが忘れてったから今度返そうと思って…
ガシッ

け…けどそれなら若草さんに頼めばよかったんじゃ…？
たしかに
まぁ…でもいいんじゃないか？
星乃もやっとHEROとしての自覚が出てきたってことで…
勝手に納得すんなコラ——ッ！
ぽかぽか
ゴスッ
いてッ…じょ…冗談だって…
ゴス
ゴスッ
………
そんな本気になったら——

ぺちっ
!?!?!?
ぱっ
だっ…だから
言っただろ…!
ほら…
上着貸すから
これでも
羽織って…

ビクッ
………っ

行ったみたい…
ごっ…
ごめん急に…！
いや…お陰で助かったよ…
ドキ
ドキ
ドキ
…とっさのこととは言えまさか自分からこんなことするなんて…
さっきの炎城の話聞いて動揺してるの私…？
キセイ蟲に襲われた日…
もう二度とあんな恥ずかしい思いをしたくなくて男子を遠ざけてきたのに
これじゃあ結局また前と同じ…

だけどもし…キセイ蟲に出逢わなければ私は――
そういえば…
!
あの話だとちゃんとした返事はまだしてなかったみたいよね…
いやっ…別にあれはただの若気の至りだしいいよ今更…!
だけどそれじゃあ私が告白の返事も出来ない甲斐性なしみたいじゃない…?
そ…そうか…?
だからもし…
あのキセイ蟲に会う前の私達の関係に戻れたら…
もしキセイ蟲を残らず退治出来たら…

その時は返事してあげる
ただし
とん
それまでに他の子にうつつ抜かしたら許さないから…

…あれ…
なんだこれ…
これって
ひょっとすると
もしかして…
待て待て
落ち着け俺…
そんなこと
って──
!
パッパッ
お待たせ
悪いね
遅くなって
おっと
お邪魔だった
かな?
……
そんなこと
ないから…!
早いとこ帰ろうぜ

この深夜に
田舎の公園で
二人っきり…
そんな恰好の
シチュエーション
でも迎えを呼ぶ
なんて二人とも
まだまだ青いなぁ…
これはもう少し
後押しが必要
かもね…

第24話 人類総HERO計画

箱は英語で「box」
キツネは「fox」6は「six」
音楽室
じゃあ・・「アレ」は英語で？
そ…そんなの…まだ習ってないです先輩…ッ
フッ 相変わらず勉強不足だな…
オマエ
正解は——
すっ
カーブド・ソプラノサクソフォーン
SAX それは恋の音色

ヒメメ！ボクも学校というものが見てみたいのだ
流石にそんな学校は無いとは思いますけど…
でもそうですねぇ…
ちょうど今からルンバちゃんの散歩があるので外から覗くだけでしたら
それじゃあ一緒に散歩に行きますか？
いいのだ!?

ルンバちゃんもチャチャちゃんが気に入ってるみたいですしね
♡
…ボクにその趣味はないのだ…
すーっ
やっぱり地球の空気は美味しいのだ
そういえばチャチャちゃんって違う星から来たんでしたっけ？
気に入って貰ったみたいでよかったです
!

モフッ
モフッ♥
あっ
ルンバちゃん
勝手に行ったら
駄目ですって
待って
くださいー
全く…レットにも
あれくらいの
行動力が
欲しいのだ…
フワッ
な…
なんなのだ
この匂い…
嗅いでも嗅いでも
止められない…
…こんなの…
くんくんっ

こんなのは生まれて初めてなのだ
マタタビ
かわいーっ
ハッハッ

白雪さんって犬飼ってたんだねー名前はなんて言うの？
私が考えた訳じゃないんですけど
歩くだけで埃を掃除してくれるので皆からは"ルンバ"ちゃんって呼ばれてます
あははっ何それーっ
もぞっ
ひやっ!?
ペロ
ペロ
ペロ
もーどこ舐めてるのー

ごめんなさい…！
帰ったら ちゃんと言いつけますからっ
いーよいーよ
動物なんだし本能ってのがあるんでしょ
だけどこんな子だと白雪さんも大変だね…
はい…
チャチャちゃんもそろそろ行きますよ？
ってあれ…？
さっきの変わった猫可愛かったねー
校内に入ってったけど大丈夫かな…？
！
もしかしてチャチャちゃん…？

……なんなのだここは…？
ほとんどメスの人間しか居ないのだ…
こんなんで人類のHネルギー事情は大丈夫なのだ…？
ここはボクがなんとかするしか…
ねぇちょっと君…
！

迷子かな？
どっかから入ってきちゃった？
お姉さんと職員室行こっか
……
はっ
!?
ビクン

ペタリッ
もう…どこ行っちゃったんですかチャチャちゃん
！
ち"っ

!!?
だっ 大丈夫ですか 皆さんっ!?
あ 白雪さんだ
ホントだ… ちょっと 触らせて…
いいよね白雪は… おっぱい おっきくて…
へっ!?
ふにっ

んっ…
じょ…冗談ですよね…!?
むにゅんっ
ぐぐぐっ
今の皆…まるでチャチャちゃんに感化された時みたいな…
!
チャチャちゃん!

なんで急にこんなこと…一体どうしちゃったんですか…!?
ヒメメ…
ボクはやっと気付いたのだ…
人類が簡単にキセイ蟲に打ち勝てる方法を…
!?
それこそ
人類総Hネル源計画なのだ!!

な…なんだかチャチャちゃん…
まるで酔っ払ってるみたいなんですけど――!?
にゃははははー
ふら
ふら
止めてくださいチャチャちゃんっ
そんなのおかしいです!
なぜ止めるのだ?こうした方が効率的で…
なによりココはメスばかりでHネルギーを溜めるには向いていないのだ
するするっ
邪魔するならボクにも考えがあるのだ…
すっ

千夜ちゃん……!?
!?
舞姫…私 なんか身体が おかしいんだ…
だけど…きっと あんたならこれを 止めてくれるはず…
っ!?

チャチャちゃんの言いたいことはよくわかります…
だけど人間は効率とか理屈だけじゃないんです
それに…
?
女の子同士でだって…
Hネルギー感じる時があってもいいじゃないですか
チャチャちゃんにはあまり使いたくないですけど…
こうするしか無いみたいですね…

Hネルギー
解☆放
安心して下さい…
痛くはしませんから

ベルカント砲

舞……姫……？
ドサッ

――さん…
大丈夫千夜さん？
ん…
むくっ
あれ…私いつの間に寝てたんだ…？
そうなんです…気がついたら皆こうして倒れてて…
前にもこんなことがあったしちょっと怖いですね…
第6話参照
うーん…なんかすごい夢見てた気が…
そうそうやっぱりあれは夢だよな…！
わ…私も覚えてないですから…

ドキドキ
ど…どうしましょう…皆に服着せてたら逃げ遅れちゃいました…
くんくん
キィッ
…ちょッ…今はダメですってルンバちゃんっ…
♡
ペロペロ
あぁ〜〜〜ッ♡
パシャァー

少年ジャンプ＋特別番外編

脚本：長谷見沙貴

誰かがこう言った――

HEROはHとEROで出来ていると――

しかし目立つ巣やったなぁ
ホント派手すぎて見つけてほしいみたい
ちゅ…注意しましょう…
ここは敵の内部ですから気を引き締めないと…
桃園 百花
Momoka Momozono
エグゼピンク
天空寺 宙
Sora Tenkuuji
エグゼブルー
白雪 舞姫
Maihime Shirayuki
エグゼホワイト
だけど暗くてよく周りが見えないな…
そりゃあ残念やったな烈人
ニヤ
ニヤ
?
炎城 烈人
Retto Enjou
エグゼレッド

!?
ウソつけッ！
せっかく雲母のサービスショットが拝めるのに勿体ない
だっ大丈夫見えてないから…！
星乃 雲母
Kirara Hoshino
エグゼイエロー
あ
うわあああああああああ
や…やっちゃった…
きゃあ〜〜〜〜〜つ

!
痛て…どこに落ちたんだ？暗くて何も…
んっ…
炎城さんそんなに強く…揉まないでください…
ムニ…
わわわっ!!ごめん!
ぱっ

！
！
ぺたんっ
ぱよんっ
烈人…自分なんかわさとやってへん…？
Hエネルギー溜めたいならそう言ってくれればいいのに…
ちっ…違えって！
もうっ…炎城さんってば相変わらずなんですから…
はーーっ

………そういえば星乃さんの姿が見えない気が…
あちゃ〜はぐれてもうたか…
ここからじゃ戻れそうにないな…
もう少し進んで合流できる所を探すか
なんか広いトコに出ちゃったな…
予想通り現れたわねエグゼロス

これが罠とも知らずにね…
それはこっちのセリフだ！
みんな行くぞ!!
ばっ
キセイ蟲
ハニトラ蟲
しーーん
あれ…HXEROSが反応しません！
宙も…なんか落ち着いてきちゃったし…
何やろな この感じ…Hネルギー一発抜いた後みたいや…
…どうしたんだ…？
みんないつもと様子が…

女子にも賢者タイムってあるんだね…
まさに〝恋人掘った後賢者の意志〟やな
霞だけ食べて生きていたいです
!?
キショショショショッ!!
計画通り効果抜群のようね!
!
貴様らがさっきから嗅いでいるのはとある星で採取した〝ケンジャの花〟の香り
この花の強い鎮静作用にかかれば自慢のHネルギーも発揮できまい

さてと…あの人間たちを縛り上げておけ
というより この広い宇宙から見れば こんな争い無意味なのでは？
無無無無無無
…それは出来ません
ってお前もか!?
ったく…あれほどケンジャの花の扱いには気をつけろと言ったのに…
さっさとこいつを解毒室に運んでやれ！
はい…
……駄目だ…俺も全然Hネルギーを感じない…
気づいてくれ星乃…！
ココに来ちゃ駄目だ——

もう みんな
どこ行っちゃ
ったのよ…
でも
この部屋
なんだろ…？
!?
ずるっ
キャっ！
すってーん
痛ったー
べとーっ
もう！ いったい
何なのこれ～

はあッ…♥
なにコレ…!?
身体の奥から
ナニかが溢れて
来る…
このままじゃ私…
いけないコト
しちゃいそう…
ひとまず何かで
Hネルギーを
発散しなきゃ
H
ドドドドドドッ
!!!!

何だこの爆発は!?
オォォォォォォ
!?
ふらふら
雲母!よかった無事やったんか…
…ん?でも何か様子が変やないか…?
!?
違うの炎城…これは私の所為じゃなくて…
へ…?

だから…
こういう
こと…
ちょっ…
急にどうしたんだよ
──!?
パクッ
ね？
わかった
でしょ…？
…ああ…けど
助かったよ
星乃…
？

なるほど…あれが親玉って訳ね…

まさかあの人間…

アドレナの花の蜜を浴びたのか…

あれはケンジャの花が味方に作用した時の解毒用に採取したものなのに…

覚悟しなさい

覚悟しろ

キセイ蟲…!

ゴゴゴゴゴゴ

ちっキショ～～～！
ボボン
うわあああああああああああっ!!!

ファ
みんな掴まって！
ガシッ

だ…
大丈夫
皆…？
…ああ
なんとか…
ぬめっ
でも…
さっきの蜜で
ヌメッて…
ぬるっ
身体が熱く
なって来た――
♥
どうすんだよ
コレ〜〜〜ッ!!

Extra Gallery

番外ギャラリー

ド級編隊エグゼロス

5巻

きただりょうま

初版発行　　　　　2018年
デジタル版発行　2018年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

EXTRA PAGES

本体・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。